

平成25年度第1回地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会 議事録

日時 平成25年7月8日(月) 18:55~20:25

場所 福山ニューキャッスルホテル

出席 (委員)

池田純委員長, 茶山一彰委員, 榎野博史委員, 石原広一委員, 檀上和秋委員
(府中市)

伊藤吉和市長(途中退席)、伊達速人市民生活部長、唐川平福祉事務所長、
浅野昌樹福祉事務所主幹、山路英利福祉事務所係長、杉原裕二主任主事

- 市民生活部長 定刻より少し早い時間ですが、全委員お揃いですので、只今から、平成25年度第1回地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会を開会いたします。委員の皆様、本日はご多用のところ、また夜間の時間にもかかわらず、ご出席いただき、ありがとうございます。

まずここで、本日の会議資料の確認をさせていただきます。本日の会議資料といたしまして、委員の皆様には資料1から6と市広報紙を事前に送付いたしました。また、事前に送付いたしました資料の他に、本日は資料7をお手元にお配りしております。お手元にお持ちでない資料がございましたら、事務局までお申し付けください。

それでは、まず、会議の公開についてご協議願います。報道関係者には、会議の傍聴を許可いたしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(「異議なし」との発言あり)

ご了承いただきましたので、報道関係者には会議の傍聴を許可いたします。

続いて、傍聴の方法についてですが、会議の運営上、あいさつまでは、傍聴席以外でもテレビ、カメラ等の撮影は許可し、協議事項に入りましたら、傍聴席のみの傍聴とさせていただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(「異議なし」の発言あり)

ご了承いただきましたので、そのように決定します。それでは、事務局は報道関係者の方をご案内してください。

[報道関係者が入室]

報道関係者の方にお願います。傍聴の方法についてですが、あいさつまでは傍聴席以外でのテレビ・カメラ等の撮影は可能ですが、協議事項に入りましたら、傍聴席での傍聴のみとさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願います。

それでは、開会にあたり、市長からごあいさつ申し上げます。

- 市長 皆さん、こんばんは。地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会を開催いたしましたところ、委員の皆様方には、大変お忙しい中ご参集いただきましたことに、心からお礼申し上げます。

さて、昨年4月1日の府中市病院機構設立から1年3カ月、早いものでこれだけの期間が既に経っております。本日は1年目の業務をご評価いただくわけで、初めての機会となるものでございます。

委員の皆様には、第三者の立場から厳正にご評価いただくため、私はこの後の会議には同席させていただくことができません。申し訳ございませんが、あいさつの後に退席させていただきますことを、ご了承ください。

よって、委員の皆様に予断をお与えするかのごとき発言は控えたいとは存じますが、一言、お礼申し上げたいと思います。それは、わずか1年余り前の時点では、存亡の危機にあった府中市の2つの病院が、現在も運営を続けているということでございます。これは取りも直さず、関係者の皆様方のご配慮・ご支援の賜物でございます。とりわけ広島大学、岡山大学両医学部及び両大学病院の先生方には、一方ならぬお世話を賜っております。改めまして、心からお礼申し上げます。

府中市病院機構の病院経営、決して楽なものではございませんが、現在、希望を持って取り組んでおります。そして、府中市民もこれを応援してくれており、病院が頑張っていることを一番喜んでくれているのは、府中市の市民でございます。この病院と市民との関係が続くならば、私は病院を守っていけるのではないかと考えております。府中市といたしましても、市民とともに病院を守り、もり立て続けていきたいと考えております。どうか、委員の皆様におかれましても、この府中市の取り組みをお見守りいただき、引き続きご指導いただきますようお願い申し上げます。開会にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。

- 市民生活部長 続きまして、評価委員会委員長からごあいさついただきます。

- 委員長 本日は、お暑い中、また、お忙しい中、皆さまにお集まりいただき、誠にありがとうございます。時が立つのは早いもので、地方独立行政法人府中市病院機構設立から1年余りが経ちました。この間、大きな問題もなく病院が運営されて参りましたことは、ひとえに、評価委員会委員の皆様や広島・岡山両大学及び両大学病院をはじめとする関係各所の皆様方のご協力の賜物でございます。評価委員会委員長として、大変うれしく思う次第でございます。

私は新市町で開業しており、府中市民病院とは少し距離が離れておりますので、

府中市民病院への紹介や逆紹介はあまりございません。しかし、府中市内の先生方に伺いますと、様々な機会を通じて市民病院の先生方との繋がりが構築されてきていることを感じます。理事長をはじめ、府中市病院機構の関係の皆様のご尽力に、改めましてお礼申し上げます。

事前の案内にもありましたように、本日の評価委員会では、府中市病院機構の平成24年度の業務実績報告の評価、平成24年度の財務諸表について協議するとともに、平成25年度の年度計画や、新病院の建設について報告を受けるということで、多くの議題が予定されております。評価委員会の職務遂行に向けて、各委員の皆様のご協力をお願いしまして、あいさつとさせていただきます。

- 市民生活部長 ありがとうございます。それでは、ここで市長は退席いたします。

[市長、退席]

本日の委員の出席につきましては、お手元の委員名簿のとおり、委員全員の出席をいただいております。また、地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会条例第6条の規定により、地方独立行政法人府中市病院機構から理事長及び事務局長に出席いただいております。

それでは、前回の評価委員会開催からしばらく期間が経っておりますので、議事に入ります前に、本評価委員会の概要や本日の会議の目的などについて、事務局から簡単に説明させていただきます。

- 事務局 資料1をご覧ください。この資料は、委員の皆様にも事前にお送りしておりますので、簡略に説明させていただきます。まず、本評価委員会は、法律により設置を義務付けられた、府中市の附属機関でございます。評価委員会の職務は多岐に渡っておりますが、本日の職務としましては、大きく2点ございます。

1点目は、法人から本評価委員会に提出されました業務実績報告書に基づき、法人の平成24年度の業務実績の評価を行っていただくことです。

2点目といたしまして、市長が法人の平成24年度財務諸表を承認するために、財務諸表を確認していただくこととさせていただきます。

この他、平成25年度の年度計画などについても、後ほど、報告させていただきますので何とぞよろしくお願いたします。

- 市民生活部長 それでは、これより協議事項に移らせていただきます。報道関係者におかれましては、これより傍聴席での傍聴のみとさせていただきます。

地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会条例第5条の規定により、委員長が会議の議長となりますので、これより会議の進行をお願いいたします。

- 委員長 それでは、地方独立行政法人府中市病院機構平成24年度業務実績に関

する評価に関して、まずは評価の基準等について事務局から説明をいただいたうえで、地方独立行政法人府中市病院機構から、平成24年度の業務実績の報告をお願いします。

なお、質疑等につきましては、説明終了後をお願いいたします。

- 事務局 資料2についてご説明いたします。この基準につきましては、地方独立行政法人法第28条の規定により、地方独立行政法人府中市病院機構の年度評価の方法について定めたもので、昨年度の評価委員会においてご承認いただいたものです。

年度評価の方法は、年度計画に定められた項目ごとに行う「項目別評価」と業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」の2つを併せて行います。

まず、項目別評価としまして年度計画に定める小項目ごとに、その達成度合いに応じて5段階での評価を行います。続きまして、その結果に基づいて大項目ごとに5段階で評価をいたします。

本日は、府中市病院機構から提出された業務実績報告書の自己評価に従い、その実績や自己評価の理由等に関する府中市病院機構からの説明を受けた後、質疑や意見交換をお願い致しております。その後、委員の皆様方から頂きました意見に基づき、全体評価として本委員会での評価をとりまとめていただく予定としておりますので、よろしくをお願いいたします。

- 法人 それでは資料3について説明いたします。資料は事前に送付しておりますし時間も限られておりますので、要点を絞って説明させていただきます。

まず、平成24年度業務実績の全体的な状況についてですが、収支目標の達成については、法人全体では経常収支比率（経常収益/経常費用）101.3%と黒字決算となりました。しかし、黒字決算は府中市の繰り入れがあつて達成できるというのが、法人の財務状況であると考えております。また、組織について、初年度は毎月定例で理事会を開催し、重要事項は理事長を中心に理事会で決定することを確立しております。

次に、大項目ごとの特記事項ですが、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関しては、府中北市民病院において、府中市民病院の院長による呼吸器専門外来を開始し、逆に、府中市民病院には府中北市民病院から内科の常勤医師が診療応援に来るなど、医師の連携が始まりました。

「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関しては、毎月の幹部会議において病院の収支状況を共有することで、職員の経営参加意識を高め、自主的な経営改善を促す組織風土の醸成に努めました。また、

府中市民病院では、年間を通して各職場における改善の取組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を開催しております。この取組みは、職員からも好評を得ております。

「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」について、中期目標の達成には法人独自の経営改革が必要と考えております。

次に、項目ごとの評価について説明いたします。高齢化に対応した医療に関して、法人全体としては病院と診療所、医療と介護など日常的な連携を図るため、医師会の会議等への積極的な出席や地域の診療所の医師や介護施設の訪問など、顔の見える関係づくりに努めました。府中市民病院では訪問看護と訪問リハビリ、府中北市民病院では訪問診療と、訪問看護、訪問リハビリを実施しておりまして、今年度は訪問看護師を1名増員しました。

救急医療への対応につきましては、外科の24時間365日の緊急手術に対応する職員体制を整えておりまして、法人2病院の連携による府中北市民病院からの紹介患者の外科手術は、今年度17件という実績をあげております。

診療科目の整備については、今年度は、府中地域の近隣病院との連携の第一歩として、府中市民病院と近隣の病院の理事長・院長・副院長・事務長による会合を開催し、情報交換を行いました。また、府中市民病院におきましては、府中地域の福山市新市町で開業する泌尿器科医に週1回診療していただくとともに、必要な場合は臨時で診察においていただくなどの取組みが始まっております。

小児救急医療及び分娩の再開について、現時点では未だ再開には至っておりませんが、外来診療を実施しております。

地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行については、現在、協議を継続しており、次の体制を検討しているところでございます。

医師及び医療従事者の確保のための臨床研修体制の充実については、府中市病院機構と社会医療法人陽正会が共同して、岡山医師研修支援機構が開催した「岡山マッチングプラザ」に「地域医療病院コンソーシアム府中」として平成24年度、平成25年度と出展しました。ですが、まだ病院群としての臨床研修体制の構築には至っていません。看護系大学などとの連携について、府中市民病院は府中地区医師会准看護学院の准看護師養成のための実習施設となっており、実習生の受け入れや学院への講師派遣をしています。

市民への積極的な情報提供について、府中市民病院では看護の日のイベントとして、病院内と市内のスーパー前で健康相談を実施しました。病院の地元町内会の夏祭りに初めて参加し、地元との積極的な交流を図っております。府中北市民病院でも、上下ひなまつりに出店し、血圧測定や健康相談、ゲームなどで地域と

の交流を図りました。病院機構としましても、市の広報に、毎月2病院の常勤医師と職員の紹介記事を掲載しましたが、病院のホームページでの情報発信は十分にできませんでした。

組織・機構の整備について、法人として理事会を毎月定例で開催し、収益の目標達成状況を報告しました。府中市民病院では、経営戦略会議を立ち上げ、毎週定例で開催するとともに、各部署の積極的な取組みを発表する「元気が出るKAIZEN発表会」を開催しています。また、両病院とも幹部会議を毎月開催し、経営状況の共有を図っています。

職員教育体制の充実については、全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援しており、職員のキャリアアップ支援に努めております。また、事務職員の育成につきましても、引き続き計画的な職員採用に努めてまいります。それから、働きやすい職場環境の整備について、法人スタート時の人事給与制度に変更はございません。

財務内容の改善に向けた経営基盤の強化については、市からの繰入金4億9千万円、当初予算で4億円、追加で9千万円により経営安定が図られたものです。経営成績につきましては、繰入を除くと府中市民病院では1億5千4百万円の赤字、府中北市民病院では2億9千1百万円の赤字、法人全体では4億4千6百万円の赤字という決算でございました。

そして、病院の建て替えへの対応について、新病院の機能として、医療と介護が一体となったサービスの提供に向けて、関係機関と協議しているところでございます。

以上、業務についての評価でございまして、自己評価といたしましては概ね評価3としておりますが、診療科目の整備、臨床研修体制の充実、市民への積極的な情報提供については、まだ十分ではないと評価しておりますことから、評価2としております。

●委員長 ありがとうございます。

大項目1、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置」の各項目について、ご意見等ございますか。

●委員 歴史が違う二つの病院が一緒になるということで、最も大切なのは「連携」というキーワードだと思います。説明を伺っておりますと、医師の連携も始まったということで、ここは非常に評価できる事項だと思います。やはり、それぞれの病院に特色がありますから、それが連携することによって、市民により良い医療サービスが提供できるようになると思います。両病院相互で、北市民から府中市民へ内科常勤医が診療応援し、府中市民の医師が北市民で呼吸器外来診察開始

など、医師の交流が進んでおり、それによりコメディカルとの交流も進んでいると思います。これは簡単なようで、その実現はなかなか難しいものなのですが、現に実行されているというのは素晴らしいことだと思います。

- 法人 今後も、職種を拡大し、様々な交流・連携を進めていきたいと考えております。
- 委員 交流によって双方の病院にメリットがあるようでしたら、大変良いことと思います。医師の場合、外科などは1人では出来なくても2人いれば対応できることもありますので、そういったメリットはあると思います。
- 委員 それから、外科については緊急手術ができる体制を組まれたそうですが、これは今回から始まったことですか。
- 法人 昨年度中途からではありますが、こうした体制を組みました。特に、外科のドクターが当直でない日は緊急手術に対応する当番を決め、看護師についても緊急手術に対応するよう待機制を採っています。また、外科のドクターが当直の日に緊急手術が入った場合は、内科のドクターが当直をバックアップするよう、当番を決めています。
- 委員 府中市民病院だけで手術が完結する場合はそれで良いのですが、場合によっては他の地域の病院との連携も必要になってくると思います。その辺りの連携はどのようにやっておられるのですか。
- 法人 当院には脳外科や循環器、CCU はありませんので、当院では対応できない疾患については、寺岡記念病院、福山循環器病院、中国中央病院や福山市民病院などに相談している状況です。
- 委員 府中市民病院で手術を行った17件も大切ですが、他の病院との連携事例なども、もっと提示していただくと良いと思います。
- 委員長 臨床研修体制の充実については、如何お感じになりましたか。
- 委員 どの病院も一番苦勞しておられるのは、どうやってやる気のある、優秀な研修医に来てもらうかということ。研修医自身にもそうだし、スタッフにとっても良い刺激になると考えています。短期間でも良いから、何か取り組みはなされているのですか。
- 法人 例えば、地域医療という形での短期の受入なども今後考えていきたいと考えております。

また、研修を終えたドクターやベテランのドクターで、今後は地域医療、ジェネラルでやってみたいという方がいらっしゃった場合にも、受け皿になるプログラムを作っていけたらと考えています。それにしばらく臨床から離れていた女性ドクターのサポートなども考えていければと思います。

- 委員 府中北市民病院には、広島大学病院から研修医や学生がいらっしゃっているようですね。
- 法人 地域医療の枠で研修においでいただいております、好評と聞いております。
- 委員 口コミと言いますか、医師同士の情報交換で「あそこの病院は良い」という話が出れば、来てくれる先生も増えると思います。逆の場合もあり得ますので、注意も必要ですが。
- 委員 府中北市民病院の場合、地域の住民の方も協力的だと伺っています。
- 委員 「診療機能の確保」の「(2) 小児救急医療及び分娩の再開」についてですが、市民病院は地域に密着した病院ですので、高齢者の安心とともに、働き盛り、特に子育て世代の若者が府中市で子育てしながら安心して仕事ができるような医療の提供も重要なことと理解しております。中期目標にもうたわれておりますように、ハードルは高いですが、小児救急及び分娩の再開に向けて、引き続き行政とともに努力していただきたいと思います。
それから、自己評価に関して、小児救急医療についてはどういった状況なのか教えてください。
- 法人 小児臨床につきましては、非常勤の先生においでいただき、外来診療を行っております。これにつきましては、広島大学にお願いしてございまして、遠方までおいでいただきありがとうございますことに感謝しております。おいでいただいている先生には、良くやっていただいております。
- 委員 分かりました。ところで、両病院とも婦人科の外来患者数が減少しているのが気になりますが、どういった理由でしょうか。
- 法人 これについては、詳細には分析いたしておりません。申し訳ございません。
- 委員 分かりました。懸念しておりますのは、32週までの妊婦健診に対応ということですから、「どうせなら最初から分娩ができる医療機関を受診しよう」と患者が離れているのではないかということです。やはり、中長期的な再開に向けてご努力いただきますよう、よろしくお願い致します。
- 法人 頑張っ参ります。
- 委員 「診療機能の確保」の「(1) 診療科目の整備」について、法人の病院間の連携や役割分担はある意味当然ですが、地域の開業医とも連携されているということで、市民病院に求められる役割だと思います。開業されている先生が診療応援に来られているというのは、新しい取り組みとして素晴らしいことだと思います。こうした取り組みがもっと広がっていけば、地域に開かれた病院として様々なネットワークが出来ていくと思います。
- 法人 病院としましても、是非、ネットワークを広げていきたいと考えておりま

す。

- 委員長 数多くの意見をいただきました。小児科や産婦人科の連携、強化については引き続き努力をお願いいたします。評価につきましては、概ね順調に達成されているということであったと思いますが、ご意見ございますか。

ご意見ございませんようですので、次の「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」の項目に移ります。

- 委員 「3 事務職員の育成」について、中期計画や年度計画の記載を見ますと、スキルアップのことかと考えておりましたが、自己評価を拝見しますと人員の確保のことが記載されています。この関連について教えてください。
- 法人 府中市民病院については、元々は厚生連の病院ということで、設立時はおよそ半数の職員が厚生連所属という状態でした。ですから、法人の目標、年度計画では事務職員の育成が目的でございますが、まずは法人所属の職員で体制を構築する必要がありました。もちろん、職員の育成や研修についても並行して取り組んでおります。
- 委員 経営戦略会議の立ち上げなど、組織の整備にも取り組まれていることは素晴らしいと思います。それから、「働きやすい職場環境の整備」の項目について、自己評価では給与制度のことしかふれられていません。働きやすい環境とは何が大切か考えてみますと、もちろん給与も大切ですが、例えば様々な研修を受講させてもらえるなど、スキルアップや育成ということも働き続ける要素としては大事だと思います。括り方の問題かもしれませんが、「働きやすい環境の整備＝給与」だけではないと思います。給与も大切なファクターですが、それ以外の環境が非常に大事だと思います。看護師も激務ですので、その離職防止には給与も大事ですが、例えば周りとのコミュニケーションやスキルアップも大事だと思います。
- 法人 ありがとうございます。ご指摘のとおりでございます。そういった視点からの評価も必要であったと思います。ご指摘いただきまして思い出しましたが、昨年度、緩和ケアの専門資格研修を受講し、先日、試験に見事合格した看護師もおります。本人も非常にやる気になっております。それから、新病院の建設にあたりましても、非常に気を配っておりますのが、現場の意見を出来るだけ汲み上げて採り入れるということです。そのため、職場ごとに検討の場を何度も開いてもらっています。職場ごとというところで会議自体は小さいですが、皆いきいきと意見交換してくれており、非常に良かったと考えています。
- 委員 計画ということで申し上げますと、人事給与制度の整備と記載されておりますので、給与が上がらないと良い評価にはならないということになってしまいます。もう少し他のインセンティブについても考慮されてはいかがでしょうか。

- 法人 ありがとうございます。今後、検討していきたいと思います。
- 委員長 給与のことだけではなく、やりがいを感じられる職場づくりが大切ということで、大項目2のまとめとさせていただきます。

次に、大項目3「財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置」についてはいかがでしょうか。

- 委員 2点ございます。1つは、市からの繰入が当初4億円、追加9千万円ということでしたが、追加の理由や内訳を教えてください。それから、経営成績について、前年度と比較してどのように変化したのかも教えてください。
- 法人 追加の繰入9千万円でございますが、12月市議会で補正いただいたもので、この時点で平成24年度の経営成績が随分と見えてきたわけでございます。随分と古い建物・設備を引き継いでいますので、当初予想していなかった思わぬ費用も発生しましたし、医療機器の整備についても、移行前は厚生連としても投資を控えておられたため、移行後にどうしても更新が必要な医療機器や検査機器については、更新せざるを得ませんでした。こういった投資的経費に加え、資産に対する減価償却費の計上など、諸々の事項が影響していますので、何とか経営成績を好転させるべく市から追加で繰入をお願いしたものです。
- 委員 追加繰入については設備関係が中心ということですね。
- 法人 経営成績の前年度との比較ということで、病院の収支についてですが、府中市民病院の前身であります、府中総合病院におきましては、退職金も含めまして4億9千万円余りの赤字でございました。府中北市民病院につきましては、3億5千万円余りの赤字ということで、両病院合わせますと約8億4千万円という状況でございました。
- 委員長 続きまして、大項目4「その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置」以降について、ご意見ございましたらお願いします。
ご意見ございませんので、次に移ります。法人の自己評価点数について、ご意見ございませんか。
- 委員 先ほどの項目でもありましたが、給与は上がっていませんが下がってもいいということで、これをどう捉えるかで評価も変わってくると思います。
- 法人 制度の改善が十分にはできなかったということで、評価2としました。
- 委員 元々は別の病院ということですが、給与体系はどうなっているのですか。
- 法人 法人として規定を設けていますので、両病院とも同じ給与体系を採用しています。
- 委員長 法人の自己評価点数を変更すべき項目などはございますか。
- 委員 自己評価としては厳しめの評価がなされていると思います。なかなか最初

から万全を期すことはできないと思います。先ほども発言しましたが、診療科目の整備について、新たに診療科目を増やすことは難しく、連携が重要と思います。両病院間の連携に加え、地域の開業医とも連携しておられるという意味では自己評価点が2点というのは厳し過ぎませんか。

●法人 まだ十分に役割分担の議論が進んでいないということで、このように評価いたしました。

●委員 初年度ということ考えると、評価は3点でもいいのではないかと思います。

●委員長 遠慮がちな点数かもしれませんが、ここは初年度ということで法人の自己評価を尊重し、そのままを評価委員会の評価としたいと思いますが、如何でしょうか。

病院機構側からご意見等ございますか。

●法人 特にございませぬ。

●委員長 それでは、法人の自己評価からの変更はないものといたします。

続きまして、大項目評価について、事務局から法人の自己評価の集計結果について説明願います。

[小項目評価の集計結果【法人の自己評価】配布]

●事務局 それでは、今、お配りさせていただきました「小項目評価の集計結果」においてご説明させていただきます。

これは、資料3におきまして、府中市病院機構が行われました、5段階の自己評価に対する点数の集計表でございます。大項目の下に中項目があり、その下に小項目が複数ある場合もありますが、各小項目の評価の分布表であり点数化したものを集計し、大項目としての平均値を出しております。その平均値を、先に説明しました資料2の大項目評価の方法に基づきS及びAからDの5段階に当てはめ評価いたします。府中市病院機構の自己評価によりますと、すべての大項目がA評価とされておりますが、先程の意見交換の結果、いずれの小項目とも変更がございませんでしたので、府中市病院機構の自己評価と同様に全ての大項目ともA評価となりました。

●委員長 続いて、全体評価を行います。法人からの報告書を基に、全体評価について私案を作成しておりますので、その案を配付させていただいてよろしいでしょうか。

(委員から異論なし)

それでは、事務局から全体評価の案を配付してください。

[「平成24年度業務実績に関する評価 全体評価(案)」配布]

●事務局 それでは、朗読いたします。

「平成24年度業務実績に関する評価 全体評価（案）」

法人の平成24年度の業務実績については、項目別評価を踏まえると、年度計画に従って、まずは順調に進んでいると評価する。

病院改革の取り組みとしては、法人運営における自律性・機動性の発揮に向けて、理事会、幹部会議及び経営戦略会議等の各種会議の定例化や、業務改善発表会等が実施されている。

病院運営の透明性の確保についても、監事による監査の着実な実施、職員間での経営状況の共有に加え、市広報紙を活用して広く市民に経営結果を公表するなど、積極的な取り組みがなされている。また、地域に開かれた病院とするため、市広報紙での職員紹介に加え、市の行事や地域の祭りへの参加等に取り組みされている。

病院間の連携の促進に向けても、法人が運営する病院相互の医師による診療応援はもちろん、近隣病院との会合の開催や、共同での医学生・研修医対象の合同説明会への出展に取り組みされているほかにも、地域の開業医による病院での外来診療も始まっている。

こうした法人の努力により、経常収支比率をはじめとした年度計画の評価指標は概ね達成されており、財務内容の改善が図られていることは評価すべきであるが、一方で、課題や改善を要する事項も指摘しておく必要がある。

まずは、職員個人の努力が適切に評価され、働きがいを感じることができる人事給与制度の整備、地域から愛される病院づくりに向けた情報発信の工夫、そして関係各所との協力・連携による恒久性のある医師及び医療従事者確保の仕組みづくり等については課題を残しており、今後の積極的な努力を求めたい。

また、高齢化が進展する地域住民の社会生活を「支える医療」の実践については、その緒に就いたばかりであり、未だ明確な成果は見えていない。しかしながら、法人の掲げる方針は地域の需要に見合うものであることから、今後に期待したい。

そして、特に改善を求める事項として、市からの繰入に過度に頼らない、強靱な経営基盤の構築がある。法人自身の評価にもあるように、法人の黒字決算は市からの繰入によるものである。中でも、府中北市民病院の経営状況は厳しく、財務内容の抜本的改善への取り組みが望まれる。

いずれにしても、平成24年度は法人設立1年目であり、当該年度計画は、まさに中期計画達成の試金石であった。「支える医療」の提供に向けて、法人においては、適切に年度計画を策定し、確実な実施を図るべく努力することが肝要であ

る。」以上でございます。

- 委員長 この案について、ご意見ございますか。
- 委員 北市民病院について、「財務内容の抜本的改善への取り組みが望まれる」とは具体的にはどういうことが想定されていますでしょうか。
- 市民生活部長 具体的な改善事項につきましては、経営の中で法人自身が行われるべき事項ではないかと考えております。
- 委員 分かりました。
- 委員 私は、特に意見はございません。
- 委員 府中北市民病院も、昨年度に比べれば改善しているものの未だ赤字ということで、この内容で良いと思います。
- 委員 この案で良いと思います。
- 委員長 それでは、この内容を全体評価とすることといたします。

業務の実績に関する評価は、小項目評価、大項目評価、全体評価ごとに、先ほどご協議いただきました内容により行います。最終的な評価報告書等の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。評価報告書等は、後日、内容を整理し、各委員に送付いたしますとともに、府中市長及び府中市病院機構に報告及び通知いたしますのでご了承ください。

続きまして、地方独立行政法人府中市病院機構平成 24 年度財務諸表について、説明をお願いします。

- 事務局 それでは、まず事務局から、資料 4 に基づき、事務局が確認した結果について報告させていただきます。

まず、提出書類ですが、地方独立行政法人法等に規定する財務諸表等の全てを 6 月 26 日に受理しており、法に規定してある事業年度の終了後 3 月以内の提出義務はクリアしております。次に、財務諸表の整合についてですが、事業年度期間の確認及び地方独立行政法人会計基準に照らし、適正に処理されていることを確認しております。

これらにおいて、監事の監査報告書は、適正意見表示であり財務諸表の承認にあたり考慮すべき意見はありませんでした。

裏面に参りまして、運営費負担金及びその他法の遵守についても、いずれも適正に処理をされていることを確認しております。以上、確認結果について報告させていただきます。

なお、財務諸表の内容については、府中市病院機構から説明いたします。

- 法人 資料 5 に沿って説明させていただきます。財務諸表といたしまして、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、利益の処分に関する書類(案)、

行政サービス実施コスト計算書、これに附属明細書を添付するとともに、財務諸表の添付書類として、決算報告書・事業報告書・監査報告書を添付しております。

まず、貸借対照表についてです。これは資産、負債、資本の動きを示すもので、この負債の部に長期借入金として、法人が新たに借り入れた1億2千3百50万円が計上されています。これは資産の部に含まれております、医療機器等購入に充てたものです。

次に損益計算書、これは単年度の経営成績を示すものですが、結論から申しますと、当期純利益4千3百48万9千円余りで法人として黒字決算であったということです。なお、財務諸表は法人として作成しているものであり、個々の病院ごとの書類は添付しておりません。

キャッシュ・フロー計算書、これは現金の動きを示したもので、1年間現金が動き、資金期末残高は2億5千2百32万円余りでした。

利益の処分に関する書類ですが、当期純利益は全て積立金として処理します。

次の行政サービス実施コスト計算書、これはサービス実施にあたって行政にどれだけのコストが掛かっているかを示した書類です。結論から申しますと、行政サービス実施コスト4億8千3百64万円余りということで、市からの繰入4億9千万円に匹敵するコストが掛かっているということです。

添付資料ということで、決算報告書を添付していますが、何故財務諸表があるのに決算報告書を添付する必要があるのかと思われるかもしれませんが、これも法律に定められていることですのでご了承ください。事業報告書は業務実績報告書の詳細版といったもので、最後に監査報告書を添付しております。公認会計士と弁護士の監事に監査をしていただきました。

- 委員長 平成24年度財務諸表については、同法第34条第3項の規定により府中市長から承認する際の意見を求められております。財務諸表に関する意見に当たっての質問などある方はご発言願います。
- 委員 営業収益と営業外収益の双方に市からの繰入があるようですが、どのような区分になっているのですか。
- 法人 営業外収益の運営費交付金は起債の償還利子に対する繰入金です。起債の利子なので営業外収益としております。
- 委員 たな卸資産の明細で、医薬品、診療材料が期首残高から期末残高が約2.5倍に増えていますが、これは心配ないのですか。
- 法人 府中市民病院は厚生連から引き継いだ病院であり、期首残高は0円でした。この期首残高については府中北市民病院のものです。
- 委員 心配はいらぬということですね。分かりました。

●委員 希望ということで申し上げますが、事業報告書に業務量をもう少し詳しく記載していただきたいと思います。現行の事業報告書では、入院患者数であるとか外来患者数であるとか、そういった情報が不足しておりますので、内容を理解するのに苦労しましたので。

●法人 分かりました。以後、改善いたします。

●委員長 それでは、平成24年度財務諸表については、府中市長から承認する際の意見については特段の意見なしということによろしいでしょうか。

続きまして、平成25年度の年度計画について、報告をお願いします。

●法人 それでは、資料6により平成25年度の年度計画を説明いたしますが、主には平成24年度からの変更点について説明いたします。数字面については、後ほどご確認いただきたいと思います。

今年度は府中地域に先駆けて上下地域において在宅医療の具体化を進めることとしておりまして、府中北市民病院の病院としての機能改革に着手いたします。

予防医療につきましては、市民の健診受診率向上に対応するため、病院健診の受入数を拡大する予定です。診療機能の整備については、近隣病院との連携会議を活発化すると同時に、府中地区医師会とも協議しながら、医療連携の具体的な方向を検討します。

また、地域医療連携室の充実と在宅支援システムの試行については、府中地域保健医療福祉連携ネットワークの在宅医療情報共有システムにより、関係者による情報共有の更なる推進に努めます。そして、地域医療連携室は府中市と連携し、地域包括ケア体制の構築に向けて、医療と介護の連携を図ります。それから、働きやすい職場環境の整備として、府中市民病院に院内託児所を開設することを目標としております。

最後に、今年度末に府中市民病院の建築工事に着手いたします。

●委員長 年度計画について質問等ございますか。

それでは、府中市民病院の建替えについて、事務局から説明をお願いします。

●事務局 府中市では、「支える医療」の拠点として、平成27年度の完成を目指して府中市民病院の建て替えを進めております。

新しい病院の概要としましては、診療科目・病床数は現在と同じ9診療科で150床、4階建てで高さ約24m、幅約100m、奥行き約24mで、床面積は約10,000㎡となる予定でございます。

また、病院建設におきましては、特殊な工法を採用することで建物の柱を少なくし、将来の医師増加や医療ニーズの変化などによる増築・改修にも容易に対応することができるよう配慮するとともに、工事費につきましては、現在、資材な

どが高騰している状況等を勘案し、30億から35億円を想定しております。国や県の補助金などを活用しながら、府中市が建設主体となって病院を建て替え、完成後に府中市病院機構に無償で貸与する予定でございます。

今後、詳細な設計図を作成するとともに、9月市議会で補正予算を計上し、今年度から工事に着手する予定であり、今後も、工事の進捗状況等について、逐次報告させていただく予定でございます。

- 委員 「将来の拡張性を確保する」というのは非常に良いことだと思います。
- 委員 柱を少なくしているそうですが、大丈夫ですか。
- 法人 十分な耐震性を有した設計となっており、安全性は確保されております。
- 委員長 つたない進行で、ご迷惑をお掛けしましたが、以上で、本日の議題は全てとなります。

これを持ちまして、平成25年度第1回地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会を閉会させていただきます。

委員の皆様、本日はありがとうございました。

以上